

ここが聞きたい!

一般質問Q&A

一般質問とは?
議員が、市民の皆さんの生活にかかわる身近な市政の課題に対して質問を行います。



行財政

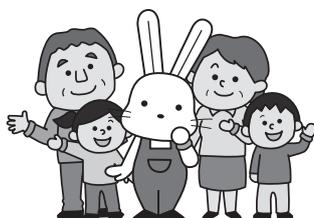


原発事故の汚染水の海洋放出に本市も反対の声を

山田 裕

Q 東日本大震災、原発事故、台風被害、新型コロナウイルス感染症拡大の四重苦に加え、原発事故の汚染水の海洋放出は、市民へ苦難を押しつける五重苦となるため、汚染水の海洋放出に本市も反対の声を上げるべきと考えるが、市の見解は。

A 保管が長期化することにより、福島だけがリスクが増えていく構図は、避けなくてはならないと考える。四重苦に加え、長期保管による五重苦を避けるためには、福島県外での海洋放出が現実的である。



電子回覧板の実証実験

根本 雅昭

Q スマートフォンやタブレット端末で閲覧できる電子回覧板の導入に向け、まずは地区を限定した実証実験を実施してはどうか。

A ICTを活用した町内会運営は、情報伝達などに非常に有効であり、今後導入して行かなければならない。ICTの活用に関心を持つ町内会に対し、機器の普及状況などを確認しながら、電子回覧板の機能、見守り活動での活用、ICT機器を持たない市民への対応など地域の実情に応じた電子町内会の運営について検討し、今年度内に対象とする町内会を募集決定し、モデル事業を立ち上げたい。



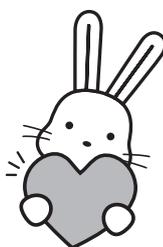
市旅館ホテル協同組合との協定締結

羽田 房男

Q 避難所における新型コロナウイルス感染症対策の一環として市旅館ホテル協同組合と協定を締結したが、締結までの経過と協定締結の内容は。

A 妊産婦など特に配慮が必要な方が、災害時に速やかに避難で

きるよう市旅館ホテル協同組合などと受け入れ方法の協議を重ね、8月31日に協定を締結した。協定の主な内容として、宿泊・食事の提供や避難者の受け入れ状況の報告の協力、受け入れ対象者を妊娠28週目以降および産後2カ月までの妊産婦、医療的ケア児とその家族とすることなどを盛り込んだ。これにより、これまで避難をためらわれた方がちゅうちよなく避難していただける



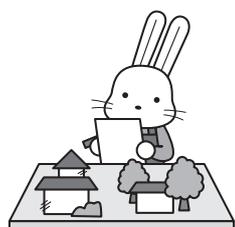
市民にわかりやすい

災害対応の表現を

小熊 省三

Q 第6次福島市総合計画素案の案の危機管理・防災減災体制の充実の項目中「被災した場合でも迅速に回復できるしなやかさをもつて」の表現は、市民にわかりにくく、災害時の表現としてそぐわないのでは。

A 災害対策には、強さはもちろんのこと、迅速に回復できるしなやかさ、状況に応じ柔軟に対応し多様なニーズに応えるしなやかさが求められることから、しなやかさという言葉は災害対応の重要なキーワードであると考え



くらし・安全

女性視点での

防災・減災の取り組み

佐原 真紀

Q 男女共同参画社会における災害対応強化のための女性視点での防災・減災に向けた取り組みは。

A 防災分野における女性参画促進のため、防災会議委員を構成する機関や団体などに対し、女性の参画を促すよう努めており、構成割合が増加傾向にある。

また、機能別団員として女子学生の消防団員が入団予定であるとともに、市の人事でも防災分野における女性職員の配置や女性消防士を採用し、女性の視点が反映されるよう努めている。地区防災訓練や防災講話への女性の参加者も多く、男女共同参画の視点に立った市民全体の防災意識の向上に向けた事業の実施に努める。



摺上川ダム管理所との

情報交換など

白川 敏明

Q 大雨の際、摺上川ダム管理所との情報交換などは行われているのか。

A ダムへの流入量が毎秒100立方メートルを超えることが予測された時点から、ダムへの流入量、下流への放流量、貯水容量の状況、水位予想を定期的に連絡を取り合う体制である。

さらに、ダム下流河川にて、はんらんなど重大な被害が想定される場合などには、市長とダム管理所長が直接連絡を取り合う体制としている。



産業・経済

特定流通業務施設の

立地可能エリアの拡大

鈴木 正実

Q 特定流通業務施設(注1)の立地可能エリア拡大の概要と意義は。

A 新たな高速交通ネットワーク整備に伴い、本市の広域物流拠点としての優位性が大幅に向上し、福島おおぞそうインター工業団地用地も残りわずかとなったため、特定流通業務施設が市街化調整区域内の民有地にも立地可能となるよう、開発許可基準の適用範囲を拡大した。

飯坂および福島西インターチェンジ
出入口ゲート、福島大笹生インターチェンジ出口を中



心に半径1キロメートルの範囲および指定路線に接道する事業用地とした。

福島イノベーション・コースト構想との連携

丹治 誠

Q 福島イノベーション・コースト構想との連携では、どのような産業の集積や研究開発拠点などの整備が見込まれるのか。

A 福島イノベーション・コースト構想では、福島ロボットテストフィールドなどを実証研究拠点とし、宇宙航空や医療、農林業などさまざまな分野の研究開発の推進が主に浜通り地方で実施されている。本市は、その玄関口として、高速交通網の利便性の高さや県立医科大学や福島大学など高等研究機関などの集積を生かし、その取り組みをサポートするとともに、関連企業の誘致や先端産業の集積につながる取り組みを進める。



福祉・健康

医療機関などの現状

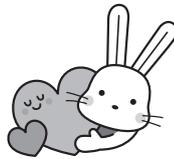
理解と今後の取り組み

小松 良行

Q 新型コロナウイルス感染症対応に苦慮する医療機関や福祉施設の現状理解と財政支援施策などの今後の取り組みは。

A 患者や利用者の減少や新型コロナウイルス感染症の病床確保などに苦慮され、従事者不足や感染リスク、施設内感染予防の徹底のための精神的負担に加え、感染防止対策業務などによる肉体的負担も大きくなっていると認識している。

市独自の緊急支援策に加え、市民の皆様や企業の協力により、医療用資材を提供するなど継続的な支援を行っている。今後も感染状況や実態を踏まえ、適切な支援に努める。



医療従事者などへの

定期的なPCR検査実施

村山 国子

Q 感染リスクが高い医療・介護・教育・保育・学童関係従事者の定期的なPCR検査実施についての見解は。

A 感染拡大防止の観点から、濃厚接触者以外にも必要に応じ幅広く検査を実施している。クラスターや家族内感染を防ぐため、症状の有無に関わらず対象を拡大、さらに予防的な観点から、福祉施設従事者を対象に、感染が拡大している地

域の方との接触があったなどの相談や必要に応じてPCR検査などを実施した。今後も、感染者を早期に探知し、クラスターや重症化を防ぐため、医療や介護従事者に対し、必要に応じて検査を実施する。



新型コロナウイルス感染者増加に

備えた医療体制の確立

高木 直人

Q 今後の新型コロナウイルス感染者の増加に備え、簡易検査の導入などにより、感染が疑われる方が一般の病院ですぐにPCR検査を受けられるような医療体制の確立が必要では。

A 国が示した次のインフルエンザ流行に備えた体制整備の方針を踏まえ、医療機関などの協議により、かかりつけ医で感染予防策を講じた上で、発熱患者を診療する体制を取ってきた。今後も、かかりつけ医のある方は、医療機関で新型コロナウイルス感染症の抗原検査も受けられるようにすることで、インフルエンザの検査と処方と同時に行うことができる。一方、かかりつけ医のない方は、発熱外来にて同時に検査と処方ができる機能としており、今後、1から2カ所増設し、医療体制の強化を図る。





市民の優しさが集う
保健福祉センターづくり
二階堂 利枝

Q 障がい者福祉サービ入事業所で制作した製品を展示販売するなど、施設の特性を鑑みた売店などを設置しては。

A コロナ禍の状況を踏まえつつ、施設の設置趣旨

でもある福祉サービスの充実に寄与するための販売需要などがあれば検討する。



まちづくり



街なかの求心力を維持
齋藤 正臣

Q 再開発事業工期間中、福島駅前通りを定期的に歩行者天国にし、街なかの求心力を維持することが必要では。

A 福島駅前通りを定期的に歩行者天国にすることは、普段の

ぎわい創出にも有効な方策であり、イベントの企画や周辺店舗のセールスがしやすくなり、名物化するイベントも出てくると考える。



また、市民の皆様が出かけやすい面も出てくるため、今後、関係機関や地元商工団体などとの協議により、定期的な歩行者天国の具体的な企画の検討を進める。

教育・文化



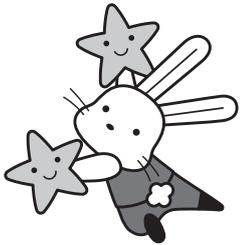
図書館本館の立地選定と
にぎわい創出の視点
川又 康彦

Q 図書館本館の立地選定の際には、これまで以上に駅前のにぎわい創出の視点が最も重要では。

A 図書館本館は、年間約10万人の利用者が見込まれるシンボリックな施設であり、一定規模のにぎわい創出が期待できる。

また、近年、単なる図書の閲覧や貸し出しだけでなく、にぎわい交流の場や生涯の学びを支える場など、さまざまな役割や機能が求められている。

今後、新しい図書館の整備用地選定にあたり、本市の特徴的な図書サービス網など基本的な本館機能が十分発揮できることに加え、望ましい立地条件を十分に考慮し、中心市街地におけるにぎわい創出の役割も視点に含め検討する。



市政概要を市議会
ホームページに掲載中！

議会事務局では、議員の議会活動に資するため、福島市の市政全般にわたる情報をまとめた「市政概要」を毎年作成しています。

福島市の沿革や市域の変遷、子育て推進事業から水道事業まで市民の皆様の生活に関わるさまざまな事業の取り組みや実績などを体系的に掲載しています。

市民の皆様にも市政の現状をご理解いただくため、市議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

QRコードから
ご覧ください。



議会報告会(第一部)・意見交換会
(第二部)を開催します！

★事前申し込み不要

★ご都合のよい会場へ

ぜひお気軽にご参加ください。

- 開催日時・会場 表紙をご覧ください。
- 報告内容
令和元年12月から令和2年9月までに開催された定例会議、緊急会議
- 意見交換会 テーマは設けません。
- 新型コロナウイルス感染症対策として必ずマスクを着用願います。
未着用の方は、申し訳ございませんが、入場をご遠慮いただきます。
- 新型コロナウイルス感染症の状況により、中止になる場合があります。

○詳しくは福島市議会ホームページをご覧くださいか、福島市議会事務局へお問合せください。